

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	江戸川看護専門学校
設置者名	一般社団法人江戸川区医師会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科(3年制)	夜・通信	1005時間	240時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。当校にて閲覧可能

<https://www.edogawa-kango.jp/studyguide/curriculum.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	江戸川看護専門学校
設置者名	一般社団法人江戸川区医師会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

当校にて閲覧可能および、HPにて代表理事の名前、主たる事務所の連絡先、法人登記番号を掲載している。
<https://www.edogawa-med.jp/enterprise/announcement.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	江戸川区医師会副会長 (はるえ子どもクリニック院長)	2020.6.20 ～ 2022.6月定時総会終了時	運営委員長
非常勤	医療法人社団博清会 理事長	2021.04.01 ～ 2022.06月定時総会終了時	副校長
非常勤	江戸川区医師会理事 (アンヌ小児科院長)	2020.6.20 ～ 2022.6月定時総会終了時	校務主任
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	江戸川看護専門学校
設置者名	一般社団法人江戸川区医師会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	江戸川看護専門学校運営委員会
役割	看護専門学校運営委員会は、江戸川区医師会定款に定められた17の常置委員会の最も重要な委員会として、会長・副会長・担当理事・支部委員8名によって組織し、担当副会長である運営委員長が選任する。教育課程、学生の進路指導、学校評価、学校経営について審議し、教務会・職員会・認定会議について意見具申を行なう。併せて常設の学校ハラスメント防止委員会の構成メンバーとして、外部監査機能を有している。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
元校長、実習病院名誉院長	2020.6.20 ～ 2023.6月定時総 会終了時	解剖生理学講師、婦人科医師として前校長時代から教育課程の進捗状況について具申する。
大学 看護学部 教授、スクールカウンセラー	同上	精神看護学概論の講師でもありスクールカウンセラーとして日頃の学生との接触の中で適宜アドバイスを行なう。
女子医科大学理事長、 江戸川区医師会元監事	同上	病院院長、医科大学理事長、医師会監事として卓越した経営手腕を発揮し、学校の財務体質について適切なアドバイスを行なう。
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	江戸川看護専門学校
設置者名	一般社団法人江戸川区医師会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>*シラバスの作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に関しては、「講義要綱」(シラバス)で本校の履修すべき科目、単位数、時間数を提示している。 ・教育課程編成においては、毎年講師会議において、学習状況や国試合格状況等を踏まえ意見交換を行い、各講師から学習目的・学習目標・学習内容・使用テキスト・評価方法(評価方法・試験配分)のシラバスの作成・確認をしてもらう。 ・それらを踏まえて、カリキュラム編成委員会を中心に教務会に提案し決定する。 <p>*シラバスの公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスは、毎年3月末に次年度分を製本し、入学時に学生に配布し説明する。 また在校生に対しては、年度初めに変更が入った科目の差替えを行う。 ・シラバスは、外部者の閲覧を可能としている。 ・シラバスには講師の実務経験は明記されていなかったが、教育課程一覧表に示して開示可能である。 	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公開 https://www.edogawa-kango.jp/schoolguide/about.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則の「履修科目及び単位認定に関する細則」において、履修科目、単位修得、成績評価等に関して規定している。</p> <p>(参考)</p> <p>細則第3条(単位の基準)</p> <p>(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲の授業をもって1単位とする。</p> <p>(2) 臨地実習については、45時間の実習をもって1単位とする。</p> <p>細則第4条(単位修得)</p> <p>1. 履修した科目を合格し、認定会議で認められた者は所定の単位を得ることができる。</p> <p>2. 一度修得した単位及び成績は取り消すことができない。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>科目ごとの成績(100点満点)を全科目合計し、平均点を算出する。それを基に学生の成績順位を決定している。成績分布状況の把握については、学生個々の成績(点数)を学生便覧に掲載した履修案内(単位認定・卒業の認定に関する方針)に定める成績評価の基準(S・A・B・C・D)に当てはめ、その分布状況を確認する。成績評価方法については、入学時オリエンテーションで学生に通知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>授業科目ごとに筆記試験、学習態度、課題レポート等により評点を出し上記の表のとおり評価・判定をしている。公表は閲覧で行う。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の要件は、学生便覧「第VI章履修案内」の4.履修要件(卒業に要する単位数)に、学則別表に定める全科目101単位(3,030時間)を修得することが卒業要件と明記し、また学則第20条(卒業の認定)に「校長は、別表に定める全科目の単位を修得した者、かつ出席すべき日数の3分の1以上欠席していない者に対して卒業の認定を行い、卒業証書(学則様式2「卒業証書」)を授与する。同20条第2項に、前項の規定により卒業の認定を受けた者は、専門士(医療専門課程)を称することができる」としている。</p> <p>単位修得状況は、1年に2回の職員会議・単位認定会議を開催し、修了状況の確認と指導方針を決定している。卒業年次生に関しては、2月に卒業認定会議を開催し、卒業認定したものを学校運営委員会において承認を得ている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページに修正版を掲載：https://www.edogawa-kango.jp/schoolguide/pdf/5_gakusoku.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	江戸川看護専門学校
設置者名	一般社団法人江戸川区医師会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校にて、閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	本校にて、閲覧可能
財産目録	
事業報告書	本校にて、閲覧可能
監事による監査報告（書）	本校にて、閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
専門学校		医療専門課程	看護学科（単位制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3030時間／101単位	1995 単位 時間/単位	0 単位時 間/単位	1035 単位 時間/単位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		128人	0人	9人	57人	66人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 講義は教員による知識注入型のスタイルの他、発表形式によるプレゼン、討論、各自のテーマ学習等様々な形式で学習を深めることに意を注いでいる。 （概要）各授業科目の授業方法及び内容はシラバスに記載し、学生の事前学習等主体的な学びを引き出し、目標が達成できるよう、下記を明示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 単位数(時間数) 2. 担当教員 3. 授業の概要 4. 達成目標 5. 科目概要 6. 授業計画 各回における授業内容 7. 評価方法 8. 教科書・参考書 <p>育成する人材像や授業の目的が達成できるよう、シラバスの内容や使用テキスト等については毎年見直しを行い、よりよい授業内容となるように取り組んでいる。</p>
成績評価の基準・方法

(概要) 成績評価は学則に則り、シラバスに明示した評価方法に基づき 100 点満点で採点・認定しており、成績評価の基準は次のとおりである。

評点	評価	判定
90 点以上	S	合格
80 点以上	A	
70 点以上	B	
60 点以上	C	
60 点未満 (再試験届未提出者)	D	不合格

進級については進級要件に必要な教育課程に係る授業科目の単位を修得したものに対して学校運営委員会の議を経て、校長が進級を認定する。

また、成績評価による学業成績を総合的に判断するために各科目の平均点と個人別の平均点を用いている。

卒業・進級の認定基準

(概要) 本校学則 20 条 (卒業の認定) に校長は、別表に定める全科目の単位を修得した者、かつ出席すべき日数の 3 分の 1 以上欠席していない者に対して卒業の認定を行い教育課程に係る授業科目の単位を修得したものに対して卒業の認定を行い、卒業証書を授与し専門士 (医療専門課程) と称することを認めている。進級についても進級要件に必要な教育課程に係る授業科目の単位を修得したものに対して認定会議の議を経て、校長が進級を認定する。

学修支援等

(概要) 本校では複数教員による各学年担当制を中心に学修支援をしている。また、各教員が担当学年・担当科目の履修上の相談を日常的に行い学生一人一人に対してきめ細かい個別指導を行っている。経済的支援については、東京都看護師等修学資金・日本学生支援機構奨学金・病院奨学金等を入学時オリエンテーションや学年の説明会を通じて案内し、学業が継続できるようサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24 人 (100%)	0 人 (%)	24 人 (100%)	0 人 (%)

(主な就職、業界等)
病院等

(就職指導内容)

多くの学生は病院奨学金を貸与されているので就職先は決まっているが学校図書室内の就職コーナーや学内 SNS の「就職掲示板」を通じて病院等の看護師募集リーフレットが閲覧できるようにしている。又、就職面接講習会を設ける他、主な病院の求人情報をリアルタイムで掲載し、学生からの就職相談があれば希望に沿える施設を紹介している。

(主な学修成果 (資格・検定等))

看護師国家試験受験資格、保健師・助産師学校受験資格

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102 人	3 人	2.94%
(中途退学の主な理由) 1 学業不振 2 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 就学支援の学年担当・科目担当者が学習面・精神面・経済面などきめ細かく相談に応じ指導している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護	300,000 円	480,000 円	300,000 円	教育実習費、施設設備費、学生保険料、教科書代、実習被服費、予防接種代等
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「自己点検・学校評価 (自己評価) ・学校関係者評価・」 評価の結果を学校ホームページにて公表している。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 運営委員長、元校長、校務主任、同窓生等を交えた構成メンバーで教育課程、入学卒業就職、学生支援、地域社会への貢献等の評価を行う方針。評価内容は運営委員会・理事会・会報「えどがわ」などで報告され、次年度以降の改善に取り組む		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医師会副会長	2020年6月～	運営委員長 (医師)
清泉女学院大学教授 (スクールカウンセラー)	2020年6月～	校務主任 (医師)
実習病院元院長	2020年6月～	元校長 (医師)
女子医大理事長	2020年6月～	監査役 (医師)
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 入学試験、退学者数、留年者数、卒業者数、国家試験合格者数、就職状況等の客観的な指標について、医師会会員への広報誌や東京都への報告数、ホームページ掲載などにより学校関係者評価を実施する。 実施体制については、在学生・卒業生・保護者・実習関係機関等の委員選任を行う。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.edogawa-med.jp/enterprise/announcement.html

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。